

しゃきょう

令和4年10月1日発行 第458号

発行 八丈町社会福祉協議会

八丈町三根2番地

TEL 04996-2-2609

FAX 04996-2-4655

心配ごと相談 TEL 2-5000

Eメール info@8jo-syakyo.or.jp

HP <https://8jo-syakyo.or.jp/>



社協では令和2年度～6年度に掛けて、第3次みつわ計画に基づき事業を行っていきます。

地域声かけ事業「あいさつ運動」にご参加ください！

あいさつ運動にご参加を

社協では、地域住民同士の繋がりの強化を目指して「地域声かけ事業」を行ってまいります。そして、その一環として10月1日～31日に「あいさつ運動」を実施します。

今年も期間中に、島内の商店や事業所の店頭にて「のぼり」を立てさせていただきます。あいさつ運動の周知を行ってまいります。

また、期間中は島内の各学校の前にお邪魔して、社協の職員が挨拶をする予定です。



地域声かけ事業の目的

全国的に核家族化などの様々な要因により、住民同士の繋がりが希薄化してきており、八丈島でもその傾向が見られています。

また、近年では新型コロナウイルスにより地域の集まりや行事などが減り、さらに住民同士が繋がりがづらくなっている状況です。こうした状況に対応するため、地域声かけ事業を実施し、地域住民同士で声をかけ合い、助け合いが出来る関係性を作っていく事、繋がりを再強化して地域で暮らす方々の孤立化などを防止する事を目的としています。

各団体・事業所の取り組み

島内の各団体・事業所に依頼して、「『あいさつ運動』に関する行動計画」を立てていただき、積極的な挨拶の取り組みをお願いしています。今年事業所等で立ててくださった取り組みの一部をご紹介します。

○島民・観光客を問わず、出会った方に挨拶してまいります。

○私たちは『あいさつ運動』期間中に協力して思いやり声かけ運動を実践します。

○朝の通学時間に交差点で通学する子どもや通行される方々へ挨拶を実施しています。等

今後、地域の皆様も、期間中にご家庭・職場・所属団体等で挨拶に関する行動計画を立てていただけると嬉しいですよ。

皆様のご協力により八丈島全体で挨拶をしやすい雰囲気作りをしていきたいと考えています。

会員会費について

9月号「しゃきょう」にてお願い致しました会員会費についてですが、既に多くの方々やうちよ銀行での払込みや、社協の事務所にて会員登録の受け付け等により、会員になっていただいております。誠に有難うございます。10月も会費を受け付けておりますので、多くの方々に会員になっていただき社協の活動を支えてくださいますようお願い致します。

地域声かけ事業に関する懇談会

9月13日14時〜16時に地域声かけ事業に関する懇談会を三根公民館の和室にて開催いたしました。

社協職員4名と保健所、警察、小中学校、移住定住促進協議会、民生委員、八丈島出身の方、移住された八丈島在住の方、多職種かつ様々な世代の総勢22名（お子様1名含む）の方々が参加してくださいました。

懇談会の様子

「地域の繋がり」をテーマとして、「あいさつ」に関して、「八丈島の現状」についてや「地域の集まり」、「防犯」など様々な角度からのご意見やお話が飛び交いました。懇談会でのご意見やお話を一部ご紹介いたします。

今年度で約40件の移住相談を受け、その内の数組の方は移住が実現致しました。しかし、住む家がなく、移住を断念した方も多くいらっしゃいます。さらに、移住しても地域との関わりが少なく、孤立化して島を離れてしまうケースもあります。移住者の方にも積極的に声をかけてください。



八丈島移住定住 促進協議会

島の方はすぐに顔を覚えてくれて車に乗っていてもすれ違おうと手を挙げてくれたり、歩いていると声をかけて下さります。このようにあいさつをしてくれるということは都内では考えられない、島ならではの大変驚きました。

小学校では教職員が促して、小学生から先にあいさつをするということに力を入れて取り組んでいる。実際に島の小学生はしっかりとあいさつをしてくれて、うれしい気持ちになる。

三根婦人会は会報であいさつを積極的にしていきますと記載して、あいさつに意識を向けて力をいれている。この懇談会も八丈島についてお話が出来て良い会ね。

現在の八丈島は地域との繋がりもだけど、家族や親戚同士の繋がりも希薄になってきているような気がする。繋がりがないから、独居で一日誰とも会っていない方も多く居るのではないかと心配。



感染対策をした上でお茶飲みなどで友達と少しでもお話をすることやみんなと触れ合える機会をつくり心身の健康状態をよくする行動を取り入れましょう。

保健所



懇談会の様子です！



社協の職員だけではこれだけの意見やお話を聞くことが出来なかつたと思います。多職種かつ様々な世代の方がいることで違う角度からのご意見やお話を聞くことが出来て、充実した懇談会になりました。社協としても感染対策を行い、集まりなどを企画していければと考えております。

「あいさつ」からコミュニケーションは始まります。「あいさつ」をすることでその人の顔を覚えて地域を知ることが出来ます。そして、そこから繋がりが出てきます。

私たちひとりひとりや関係各所、地域の皆様が出来る範囲で意識して地域と繋がる事で八丈島のサーフティネットとなり、助け合いが出来る八丈島になっていくと思っております。

今回の事業紹介は、在宅生活で安心した生活を送るためのサービスです。

訪問介護事業 介護保険事業
ニコニコホームヘルプサービス

〈訪問介護とは？〉

利用者が在宅のまま自立した日常生活ができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）などが利用者の自宅を直接訪問して、入浴、排せつ、食事の介助などの「身体介護」や調理、洗濯、掃除などの「生活援助」を行うサービスです。



〈対象者〉

要介護1～5の認定を受けた方です。自力での生活が難しく、日常生活を送るために人の介助を必要とする方が認定されます。

〈どんなサービスが受けられるの？〉

○身体介護 ・食事介助 ・入浴介助

・排泄介助 ・清拭

・共に行う家事

○生活援助 ・買い物 ・調理 ・洗濯等

これらのサービスが受けられます。

※訪問介護員は行える事、行えない事が細かく決まっていますので詳しくは担当のケアマネジャーなどにご相談ください。

〈料金について〉

【料金表 基本料金・通常時間】 (1割負担の場合)

身体介護	20分以上30分未満	30分以上～1時間未満
	2,500円 (250円)	3,960円 (396円)
生活援助	20分以上45分未満	45分以上
	1,830円 (183円)	2,250円 (225円)
身体介護 生活援助	共に30分未満 3,170円 (317円)	

上記の表が利用料の目安となります。介護保険からの給付サービスを利用する場合は原則として基本料金の1割～3割が自己負担となります。身体介護と生活援助で料金が変わってきます。

国（厚生労働省）がサービスごとの単位数を定めており、その単位数を元に利用料を算定しています（単位数が変更になれば料金も変わりますのでご注意ください）。また、基本料金に対して、早朝（午前6時～午前8時）、夜間（午後6時～午後10時）帯は25%増し、深夜（午後10時～午前6時）は50%増しとなります。

総単位に特別地域加算15%、介護職員処遇改善加算を加算した額が利用料となります。

〈誰が自宅に訪問してくれるの？〉

社協が契約している左記のいずれかの資格を有する訪問介護員が訪問します。

- 介護福祉士
- 訪問介護員2級養成研修修了者
- 介護職員初任者研修修了者等

〈交通費について〉

訪問介護員派遣の交通費は無料です。買い物のサービスを希望される方は交通費の実費として100円を頂いています。

10月のサロン日程

10月のサロンは、左記の日程で実施する予定です。新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる場合がありますので、ご了承ください。

・坂上地域 10月21日（金）

10時～11時30分
中之郷公民館

・坂下地域 10月31日（月）

10時～11時30分
大賀郷公民館

【お問い合わせ】TEL 212609

担当 菊池

10月 ボランティアコーナーだより

ボランティア事業活動紹介

ボランティア事業ではボランティア活動促進を目指し、様々な活動を行っています。今回は、ボランティア事業で行っている【スクール出前】の活動を紹介します。

【スクール出前】とは、総合的学習の時間などに対応し、福祉に関する体験講座を希望する学校(小・中・高校)に社会福祉協議会の担当と講師が訪問して実施します。

(ご要望があれば事業所向けの福祉体験講座も実施いたします)

出前メニューは「視覚・聴覚・肢体に障がいのある方の理解を深める」・「高齢者に対する理解を深める」・「体の不自由な方に配慮された島内の仕組みを見に行く」・「心を育てる福祉の講話」・「ボランティア活動や奉仕の心得を理解する」など様々な道具を使い体験をしながら学ぶ事を主体としています。また、今年度から「認知症サポーター講座」も実施予定です。

令和3年度は小・中学校、事業所に向けて「高齢者疑似体験」・「車いす体験」・「アイマスク体験」・「福祉の講話」を実施しました。(写真参照)

今後も、児童・生徒の皆さんに分かりやすいスクール出前を目指し活動したいと思います。

スクール出前の内容や対象団体など、ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

【お問い合わせ】TEL2-5000 担当 佐々木

令和3年度に実施した体験の様子



車いす体験
(大賀郷小学校)



福祉の講話
(富士中学校)

高齢者疑似体験
(三原中学校)



アイマスク体験
(ちゃんこめ作業所)



そうきんを施設にお渡ししました

昨年7月号「しゃきょう」で、そうきん用のタオルの寄附と、そうきんを作ってください方を募集したところ、ボランティアの方々のご協力で200枚を超えるそうきんが出来上がりました。

出来上がったそうきんは、消毒などで使用される施設へお渡ししました。(社協でも使用させていただきます)

タオルのご寄附、そうきんの製作にご協力いただきありがとうございました。

